

Toshio Kawase Exhibition



川瀬敏夫〈人たち〉1966(昭和41)年 個人蔵

「ドキンとするような絵を描いてみたい・・・」

川瀬敏夫 作品展

2018年 2019年
11月16日(金) ~ 1月16日(水)

休館日 毎週月曜日(12月24日、1月14日は開館)、
12月25日(※)、12月29日(※) ~ 1月3日(※)、1月15日(※)
開館時間 午前9時30分 ~ 午後5時

とっておきトーク

11月17日(※)、12月22日(※)、1月12日(※) いずれも午後2時~(30分)
解説を交えながら作品を観覧したのち、各回とも異なるテーマを設けて川瀬敏夫や
その作品についてお話しします。

語り手/五井道義氏(本展出品作品の所蔵者) 聞き手/当館学芸員

主催/北海道立釧路芸術館、釧路新聞社

後援/釧路市、釧路市教育委員会、北海道新聞釧路支社、FMくしろ

協賛/道立釧路芸術館ポポ&もの会、釧路芸術館ボランティアの会SOA

Kushiro Art Museum
芸術館

北海道立釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido

入場
無料

川瀬敏夫は釧路で教員として働きながら創作への情熱を燃やしつつけた画家です。青年期にはアンフォルメルに熱中し、のちに約30年にもわたって展開した《人たち》シリーズでは、ドラマチックな群像表現の中に、生活と創作とをめぐる自身の葛藤、社会の在り方への疑問、そして市井の人々や日々ふれあう子どもたちへの優しい眼差しを込めました。この釧路で忠実に「人」と「創作」に向き合った川瀬敏夫の、約半世紀に及ぶ画業の軌跡をご覧ください。

川瀬敏夫 Toshio Kawase (1932~)

芦別市生まれ。北海道学芸大学釧路分校(現・北海道教育大学釧路校)美術科を卒業後、釧路市内の小中学校で約40年にわたり美術教員を務める。1962年にノワール同人会(のちにノワール美術協会)を創立。1966年に全道展会員となる。現在、札幌市在住。